

特定非営利活動法人

# ほしのくま

発行：NPO法人 星のくま  
 住所：雲仙市愛野町乙2336-1  
 TEL：0957-36-7575  
 FAX：0957-36-7576  
 URL：hoshinokuma.com  
 発行責任者：磯田 正也

ほのぼのと しあわせになろう  
 のんびりとくじけるな まけるな!



「今年もゆつくりと一歩ずつ」

新たな年を迎えるとともに、特定非営利活動法人星のくまも、当法人のサービスをご利用していただく利用者様を始め、保護者様、ご家族様、各関係団体様、更には地域の皆様方に支えていただけたお陰で、六回目の正月を迎えることができました。

昨年、平成三十年は、障がい福祉分野にとって様々な動きがあった年でした。大きくは「障害福祉サービス等報酬改定」が行われ、就労系サービスにおいては、より一層の成果主義の導入がなされました。また、国の大きなビジョンである共生社会を見据え、事業所等から地域への移行や自立を促進するための新サービスなども新しく始まりました。

そういった常に変化していく環境の中であっても、いかに「利用者様本位で質の高いサービス」を提供し続けていく体制を整えることができるかが私達に課された使命であり、ひいては地域貢献を果たすことに繋がると考えています。

その為に私達は、利用者様一人ひとりが持つていらつしやる「可能性」を最大限にサポートさせていいただくことよって、それぞれ個々に合った「自立」を果たし、地域の一員として豊かな生活を送ることができるよう、既存の考えにとらわれない支援を全職員一丸となって取り組んでいく所存です。

本年も皆様からの更なる御指導、御鞭撻を賜りながら、ひたむきに真摯な態度で各サービスを提供することを誓い、新年の挨拶と致します。

特定非営利活動法人 星のくま

理事長 磯田正也



# ワークセンターあいの

さあ 出発!

## 就職第一号!



平成三十年十二月、ワークセンターあいのの就労移行支援サービ  
スより就職生を送り出すことができました。今回、第一号と  
なる就職生は、虹の原特別支援学校高等部を卒業後利用されて  
いる陣野大河さんです。

アイロンプレス班に所属しながら「働く」ために必要な体力  
をつけ、あいさつや連絡、報告などの基本的なマナーを身につ  
けるべく、日々訓練に励まれていました。訓練開始当初は、あ  
いさつをすることも間々ならず、無口でおとなしく、慣れない  
作業に手を止めたり、持ち場を勝手に離れる事もありました。

しかし、アイロンプレス班での洋服たたみ作業を通し、「今日  
は何枚たたむか」という目標数を立て、常に数を意識した訓練  
の中で、自分がたたんだ枚数(今日の達成度合い)とすることで、  
目標を達成できれば成長を感じることもでき、達成できなけれ  
ば何が原因でどんなところに課題があったのかということを探  
り返し学ばれました。またアイロンプレス班では、様々な種類  
の衣類をたたまなければならず、一種類のたたみ方を憶えても  
同じようにはなりません。数を意識することで、数を  
増やそうとするならば、自らわからない点などの報  
告、連絡を必然的に行なわなければならないのです。

そのような環境の中で約一年間の導入・基礎訓練  
を経て、株式会社長崎清水様での施設外実習を行う  
までに成長され、2週間の実習の末、就職に繋げる  
ことができました。また「作業の変化に対応できる」  
という点においても良い評価を頂き、陣野大河さん  
の努力はもちろん、当事業所においての訓練内容に  
ついて多少の自信が持てたところです。

今後、益々社会人として大きく成長する事を願  
いながら一人でも多くの就職生を送り出すことが  
できるように頑張っていきたいと思っております。



がんばります!



陣野大河さん

初詣

へ行ってきました。

作業班別に分かれ、千々石町の橋神社へ参拝に行ってきました。拝殿に着き賽銭を投げ入れると、今年も作業に対する取り組み方や、健康でありますようにと、皆さま熱心にお参りをされたようでした。

今年も無病息災・交通安全、そして皆様のご発展を願います。

## 夢に向かって... 初めての實習へ



就労移行生の宮崎桃花さん。初めての体験  
実習を行いました。お世話になったのはスー  
パーの鮮魚部。魚をトレーに入れたり、計量  
してラップをする作業を行いました。外に出  
て『働く』という経験が無かったので不安な  
様子でしたが、よく気が利き、何でも器用に  
こなし業務を問題なく進められました。

クリアしなければならない課題はありませ  
んが、将来、就きたい仕事があるとの事。その  
夢に向かって職員も一緒に頑張ります!



## ~視察旅行INどんぐり村~



秋晴れの下、佐賀県にある「どんぐり村」様に伺いました。テ  
ーマパークの中に福祉が同居しているという珍しい施設です。広大な  
敷地に小動物館や農園、自社製造のパン工房でそれぞれ利用者の皆  
様が生き生きと働いている姿を見る事が出来ました。現場での皆様  
の働きぶりを見て、良い刺激となったのではないのでしょうか。



気持ちを新たに...  
集合写真



お腹も満足♪  
パスの中も楽しかったです♪



皆さん、  
真剣な表情です...



# ケアステーションあいの



## 日帰りバス旅行ハウステンボス

十一月初旬、利用者の皆さんが待ちに待った日帰りバス旅行がやってきました。今年は佐世保市の「ハウステンボス」に行ってきました。

初冬のさわやかな気候の中、オランダの風景を一望しながら園内を散策し、綺麗な花を見たり、お土産を買ったりとても充実した時間を過ごされました。  
また、行き帰りのバスの中では、楽しいゲームやカラオケをしてとても盛り上がりました。  
今回の日帰りバス旅行が利用者の皆さまにとって素敵な思い出となったことと思います。



## カラオケ



## 食事もグッド!



## クリスマス壁画製作

創作チームの活動として毎月壁画製作を行っています。  
12月はクリスマスツリーを作成しました。ツリーの本体には、トイレットペーパーの芯を緑に塗った物を使用してキラキラの飾り付けもし、可愛く仕上げました。  
これからも、季節に応じた素敵な壁画を作っていきたいと思っています。



# 初

# 詣

新年に入り、初の行事として千々石町にある桶神社と温泉神社に分かれて初詣に行きました。

今年は天候にも恵まれて、新年のすがすがしい空気の中、皆さん今年の抱負やお願いごとなど、様々な思いを抱きながら手を合わせたいらっしゃいました。

## 運動プログラム リハビリ開始

理学療法士の宝田先生に来て頂き、個別プログラムを元に看護師を中心にリハビリを行っています。日々の生活がその方らしく過ごせる様に健康と体力づくりに努め取り組んでいます。





# START

センターあいの」も皆さまのお力添えのおかげ  
ーションあいの」と共に2019年をスタート

卒業を見据え、少しずつ力をつけていけるよ  
自分達で考え、計画を立て、実施する」機会  
まな事に取り組んでいます。

とって「アクティビティセンターあいの」の  
王でもあります。

を高めてけたらと思います。2019年もこの2  
す。



キッズステーションあいの

KIDS

## Christmas Production



今年度のクリスマスは部屋の壁にクリスマスツリーを子ども達の手作りで作りました。

一から作り上げたクリスマスツリーは何倍も綺麗で輝き放った物となりました。サンタさんもこのツリーなら真っ先に来てくれると思えた壁画となりました。

## MEMORY



クリスマス会では、歌やパネルシアターの発表を頑張りました！



段ボールで作られた「等身大のSL」にみんな大喜びでした！



## Start

専門職による支援

作業療法士  
中里 寛司

作業療法の専門性を活かして、  
子どもたちの能力、活動、環境など  
の様々な視点で分析・評価を行います。  
そして子どもたちの自立に向けた発達支援・  
ライフステージに合わせた支援・関わる  
人への支援・身近な地域における支援に  
繋げていけたらと考えております。  
今はなにより利用していただいている  
子ども達が楽しくプログラムに取り組む、  
「また明日も来たい！受けてたい！」と言っ  
てもらえるように頑張ります。



アクティビティセンターあいの



2019年

昨年4月に事業を開始した「アクティビティ」で、あっという間に9カ月が過ぎ「キッズステーションあいの」をすることができました。

「アクティビティセンターあいの」は高等部 への支援を行うことを目的として「活動内容を を増やし、外出や野菜栽培、調理実習等さまざま

「キッズステーションあいの」の子ども達に 子も達は憧れの存在でもあり、頼もしい存在

職員同士もお互い刺激し合いながら、支援力を つの「あいの」をどうぞよろしくお願い致します



Activity

中村まり子先生

体や心が子どもから大人に 成長していく思春期を子ども 達や保護者の方々が安心して 過ごすことができるように、 実際の赤ちゃんの重さの人形 を抱えたり、生卵を使用して 優しいタッチングや嫌なタッチ ングの力加減を学ぶなど言葉だ けではなく、実体験を通して学 んでいます。

大人になるために自分の体や心を知ることはとても大切で、大事な こと。しかし、なかなか考える・伝えることが難しく、どうしたらいい のだろうと悩んでいる保護者の方々や支援者の意見が多くあります。 今回の学習会が子ども達のより良い成長と親子で学ぶ大切な機会 となってくれればと思います。

大切なこととからだ



長崎ウエスレヤン大学へ 出店してきました！

ケアステーションあいのの皆さんと一緒に、長崎ウエスレヤン大学の学園祭に参加させて頂きました。

出店内容は、手作り可愛い「三角ポーチ」「ボードー綿菓子」「ハットグ」の三点を販売しました。

「働く」という事の大変さ、売れたことで「楽しさ・喜び」を自分自身が体験することができました。



創作活動

今回は、上手にできたクリスマスリースを紹介します！！





# グループホーム星のくま1号館



二〇一九年、「平成」最後のお正月を迎えたグループホーム星のくま1号館の入居者の皆さま。今年は新たに一名の入居者さまを迎え、九名となりました。毎年恒例となりつつある「新年の抱負」を今回もご紹介致します。入居者の皆さまも「今年は何を目標にしようかな?」と悩みつつ、新たな年にふさわしい抱負を教えてくださいました。

## 2019年 平成最後の!

# 今年の抱負!!!

### 新しい年のはじまりだ!



一生懸命仕事を頑張ります!  
今年はダイエットもするぞ〜



EXILEのコンサートに行くぞ!



自分でできる事を増やし、  
ひとりで買い物に行きたい!



作業をがんばりたい!



温泉でゆっくりしたい!  
病気にせず健康な一年にしたい



ケガのないようにリハビリ  
頑張ります!



お話上手になりたいです!  
たくさんの方に会いたいです



落ち着いて生活します  
作業も頑張るぞ!

NEW FACE!!



GHの皆と一緒に楽しく過ごしたい!  
おいしいものも食べに行きたい!

1月より入居された  
井上靖代さんです。  
よろしくお祈りします

## 平成最後の! 冬のイベント!楽しみました!

冬はイベントがたくさん!グループホーム星のくま1号館でもクリスマス会&忘年会を楽しみました。この日は手作りのごちそうやケーキが盛りだくさん。お楽しみのプレゼントも1人ひとりに手渡され、皆さんのとってもいい笑顔が見れました。

「季節のイベントを楽しむ」ことも季節を感じるためには必要な事。これからも大切にしたい時間です。



グループホーム星のくま1号館では、自分たちが住む地域の清掃活動を行っています。今では地域の方々からあたたかい言葉かけも頂けるようになりました。これからも続けていきたいと思ひます。





# 冬のイベント特集



楽しい国際交流になりました！  
**クリスマス会**

今年度の合同クリスマス会は長崎ウエスレヤン大学様より、韓国人留学生の方々に参加して頂きました。日本語での自己紹介のあと、母国の歌を披露されたり、利用者の皆様にプレゼントを手渡して頂いたりと楽しい国際交流のクリスマス会となりました。また、子どもたちは合唱やダンスなどのステージ発表をされ、可愛らしくも一生懸命な姿に大人の利用者さまからも「元気をもらえた」と好評で、とても楽しい会となりました。



## ワークセンターあいのクリスマス会

ワークセンターあいでは、リース作りや楽しいゲームにプレゼント抽選会で盛り上がり、手作りのとってもかわいい「ツリーケーキ」を皆で食べてクリスマス会を楽しみました。

## もちつき会

年の瀬も迫った12月26日、毎年恒例の星のくまもちつき会を行いました。お餅をつき、利用者の皆さまにはたくさん丸めていただきました。また、新年を迎えた1月7日には無病息災を願う鬼火を行い、昨年のもちつき会で作ったお餅を焼いて皆さんで美味しく頂きました。神聖な火を囲み今年一年の健康と安全を祈願しました。

## 成人式・年祝い

今回成人を迎えられスーツ姿が似合うお二人。皆さんへのお披露目のあと、橋神社にてお祓いを行いました。今後社会人としてより成長した姿を我々に見せて下さることを心より楽しみにしています。また還暦を迎えられて赤いちゃんちゃんこを身にまとったお二人も、皆さんからお祝いの言葉をかけられてとても嬉しそうにされていました。

**前田竜樹さん**  
二十歳になりました

**陣野大河さん**

**井上靖代さん**  
還暦。元気に頑張ります！

**造酒洋子さん**

鬼火



# 五周年を迎えて 次のステージへ向かって

平成25年にひとつの事業所からスタートした「星のくま」は、小規模ながらも現在6事業所で8種類の障がい福祉サービスを展開するまでに成長することができました。急務であった人材育成も幸いなことに良い人財に恵まれ、トップダウンながらも日々研鑽に努めています。然しながら今日まで前進のみの順風満帆に成長してきたわけではありません。多くの方に巡り合い、時には悲しいお別れもありながら様々な経験を重ねてきました。「3歩進んでは2歩下がりを繰り返して、気が付けば色々な方々に支えられ、背中を押してもらいながら前へと進んできたような気がします。

法人設立時の思いは、今も変わらぬ「障がい福祉事業者としてのプロ（職人）になる」ことであり、そのためにはブレない法人基本理念と、障がい福祉事業全般ができる基盤づくりですが、残念なことにNPO法人では障がい福祉の全事業を網羅することはできません。また、NPO法人は福祉事業以外の業種もあるために、ボランティア団体と勘違いされたり、稀にニュースで流れる運営費を巡る不祥事等がイメージダウンに繋がったりと、長い歴史があり、福祉を全般的に行っている社会福祉法人に比べると、その認知度や信頼性の低さは否めません。それでも「星のくま」に期待を寄せてくださる皆さまに、少しでも質の高いサービスで応えることができるよう、一途に取り組んできたことに代わりはありません。



ほのぼのと  
しあわせになろう  
のんびりと  
くじけるな！  
まけるな！！



環境はどうなっているのか。スタッフも傍観者として時を待つのではなく、ボトムアップで法人の将来を考え、デザインしていく。淡々と日常の業務を熟すだけでなく、一人ひとりがそれぞれの立場で自己研鑽を重ね、将来のなりたて姿を目標に成長しながら、「星のくま」の次のステージを考え、共に前進していきたいと願います。

2人の利用者様、5名のスタッフから一歩を踏み出した「NPO法人 星のくま」。身近で親しみやすい事業所と言われた初心を忘れず、利用者様・スタッフ一人ひとりと、その輝く笑顔「財」に次の新しいステージへと邁進していきたいと思えます。

「五周年を迎えて」 完

## ～お知らせ～

平成30年度放課後等デイサービス事業（キッズステーションあいの・アクティビティセンターあいの）における評価（保護者等向け・職員等向け）を実施致しました。アンケートにご協力頂きました保護者の皆様の貴重なご意見やご要望等を参考に、今後の支援に活かしていきたいと思えます。評価内容については星のくまホームページに掲載しています。

## news

### 第4回 星のくま運動会 開催決定！

日時：平成31年3月9日（土）  
場所：雲仙市吾妻体育館



## 編集後記

やわらかな冬で平成最後の年をスタートさせた当法人も七年目を迎えるようとしています。

今年の私のモットーは、「ファンタジーな楽しみのある日々を送ること」利用者様と一緒に色々なことに挑戦し、アグレッシブに楽しんでいければと思います。

今回の広報誌では、冬の行事特集や当法人第一号になる就職者（就労移行支援）の方など掲載しております。是非ご覧ください。

星のくま 広報部

homepage



facebook



Instagram



「旬な話題」を  
お届け中！

ホームページURL <http://hoshinokuma.com/>